

◆ 今週のコメント (感染地域、感染経路については推定を含みます。)

- レジオネラ症(肺炎型)の報告が1例(60歳代男性)あり、症状は発熱・呼吸困難・意識障害・肺炎で、感染地域は国内、感染経路は水系感染(温泉)です。本年の累積報告数は17例となっています。
- カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症の報告が1例(80歳代男性)あり、症状は菌血症、感染地域は国内、感染経路は以前からの保菌です。本年の累積報告数は33例となりました。
- 梅毒の報告が3例(20歳代女性1例, 30歳代女性2例(第47週追加報告分含む))あり、症状は梅毒性バラ疹または症状無しで、3例共に感染地域は国内、感染経路は性的接触(異性間)です。本年の累積報告数は67例となりました。

京都市では、平日昼間、土日及び夜間にHIV・性感染症(梅毒・淋菌・クラミジア)検査を実施しています。詳細については、下記のホームページを御覧ください。

○京都市情報館「京都市のHIV検査について(平成29年度から検査体制を変更しました。)」
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000047908.html>

- バンコマイシン耐性腸球菌感染症の報告が1例(80歳代男性)あり、症状は咳嗽です。感染地域は国内、感染経路は不明です。本年の累積報告数は2例となりました。
- インフルエンザの定点当たり報告数が1.06(73例)となり、「流行シーズン入り」となりました。手洗いとうがいを励行し予防に努めましょう。

京都市では、インフルエンザや手洗いの方法のリーフレットを発行しています。リーフレットについては下記ホームページを御覧ください。

○「手洗いの方法」リーフレットは、「こどもに多い感染症について」のページ内にリンクがあります(衛生環境研究所)
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000197526.html>

○こどもの感染症リーフレット「インフルエンザ」(下記ページ内にリンクがあります)(衛生環境研究所)
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000146238.html>

◆ 今週のトピックス: <インフルエンザ>

京都市のインフルエンザの定点当たり報告数は1.06(73例)となり、前週の0.55(38例)からほぼ倍増し、「流行シーズン入り」の目安である「1」を超えました。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- 二類:結核 23例(肺結核 9例, その他結核 2例, 潜在性結核感染者 12例)うち喀痰塗抹陽性 1例
【1月以降の累積報告数 337例(肺結核 172例, その他結核 55例, 潜在性結核感染者 110例)うち喀痰塗抹陽性 82例】
- 四類:レジオネラ症(肺炎型) 1例【1月以降の累積報告数 17例】
- 五類:カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 33例】
- 五類:梅毒 3例【1月以降の累積報告数 67例】
- 五類:バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 2例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	1.06	73
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	8.00	344
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.44	62
	③ RSウイルス感染症	0.51	22
	④ 手足口病	0.49	21
	⑤ 水痘	0.40	17
眼科	流行性角結膜炎	0.60	6

【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <インフルエンザ>

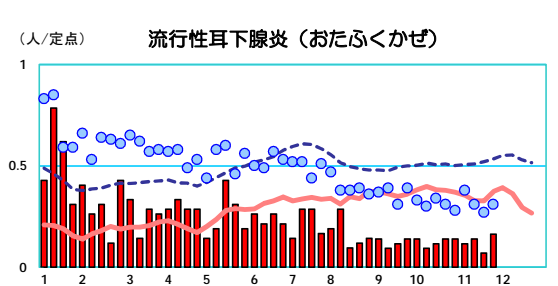
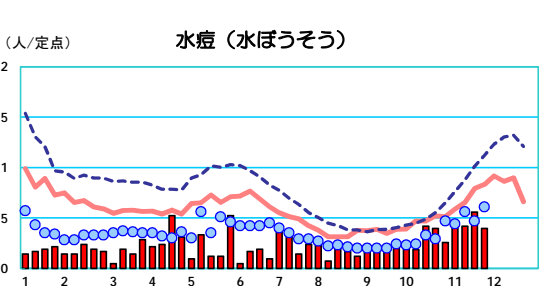
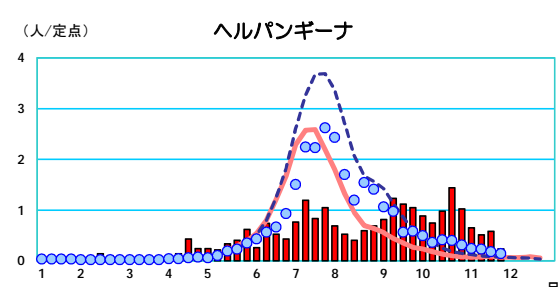
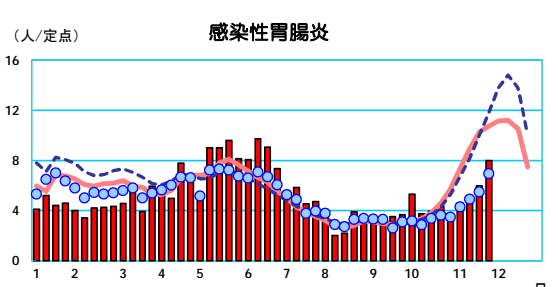
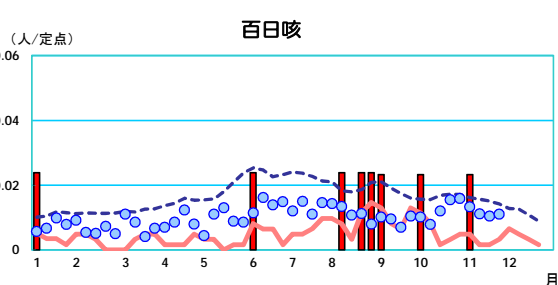
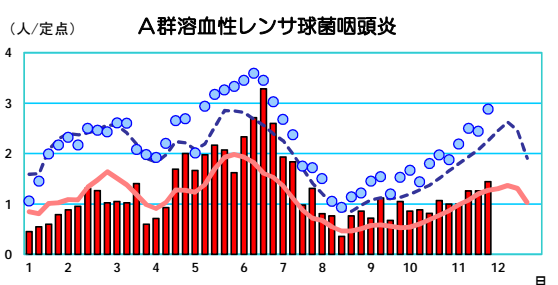
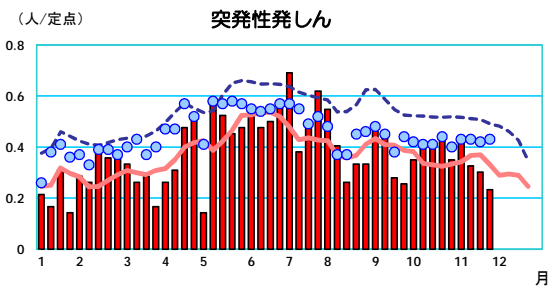
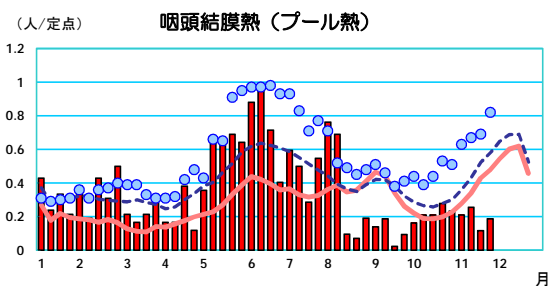
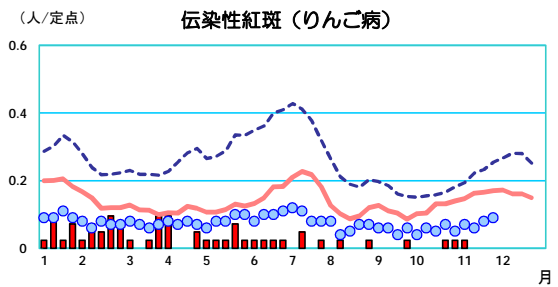
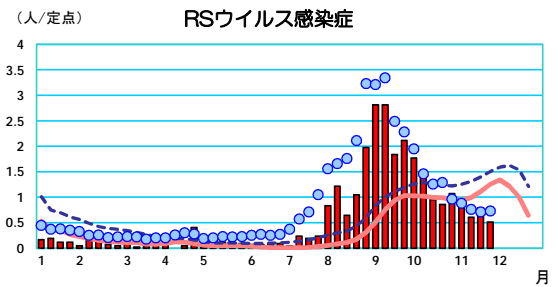
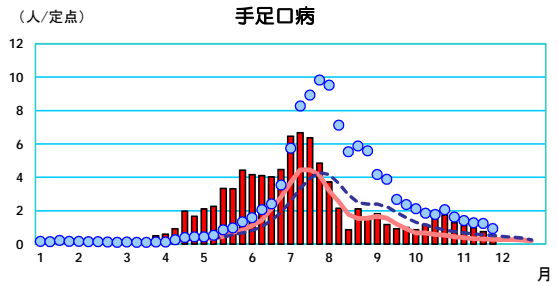
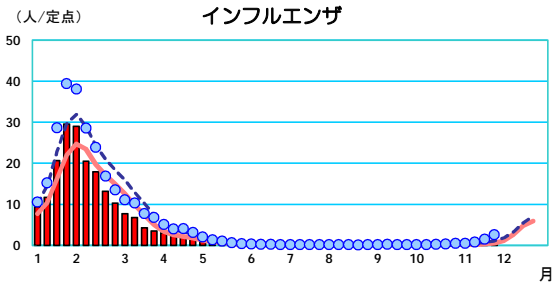
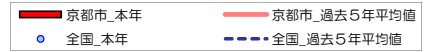
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは、平成29年12月6日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。

また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

* 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成29年）



第48週(11月27日～12月3日)トピックス: <インフルエンザ>

発生動向

京都市のインフルエンザの定点当たり報告数は1.06(73例)となり、前週の0.55(38例)からほぼ倍増し、「流行シーズン入り」の目安である「1」を超えました。全国ではすでに前週1.47で「1」を超えており、今週は2.58とさらに増加しています(図1)。

都道府県別で見ると、定点あたり報告数が「1」を超えているのは前週までに25都道府県、さらに今週新たに16府県が加わり、合わせて41都道府県となりました。文字どおり全国的に流行シーズンに突入しました。近畿圏でも前週に兵庫県と和歌山県、今週に滋賀県、大阪府、奈良県が「1」を超え、京都府以外の1府4県が「流行シーズン入り」しています(図2)。

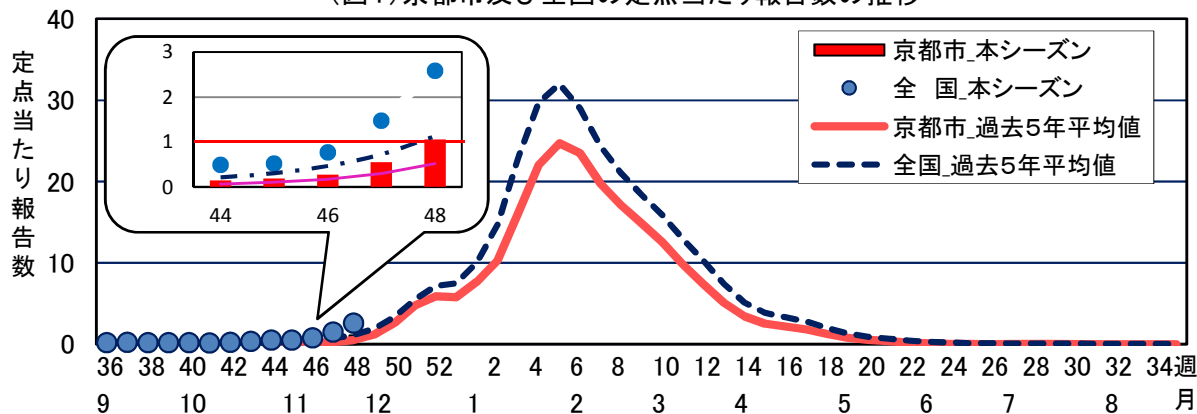
今シーズンのインフルエンザウイルスの検出状況を過去4シーズンの同時期までと比較すると、A(H1)pdm09型が最も検出率が高く、約50%を占めています。またB型の検出率がシーズン当初から高いのが特徴的で、今シーズンは2015/2016シーズン、2013/2014シーズンと同様に早くからA型・B型双方が流行していると言えます(図3)。例年、流行開始の目安「1」を超えた後、急激に報告数が増え、3～8週後にはピークを迎えます。今後の発生動向に注意するとともに、下記の予防を徹底してください。

症状及び予防

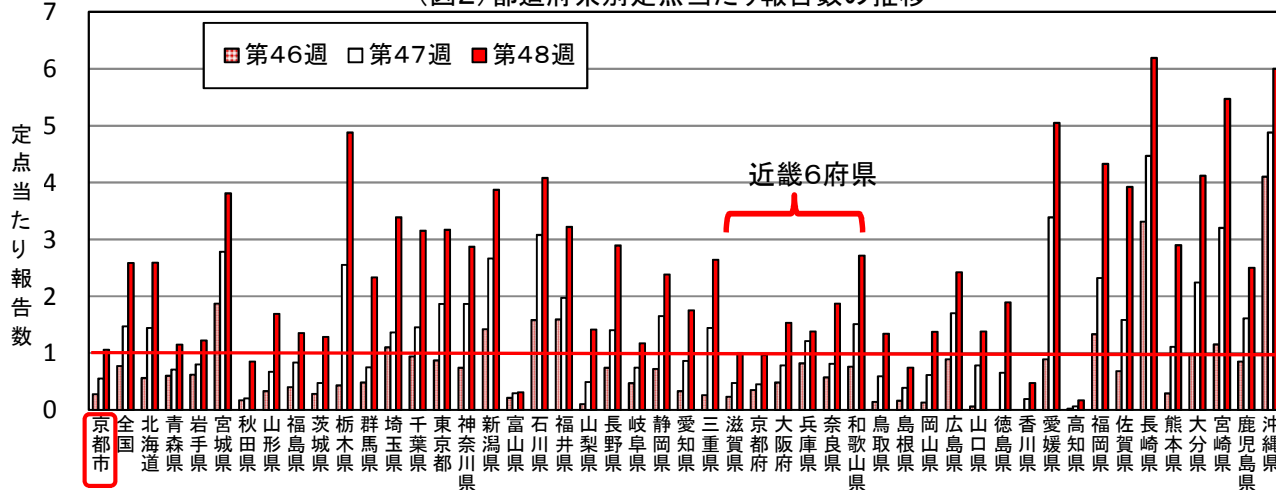
インフルエンザは、インフルエンザウイルスを病原体とする急性の呼吸器感染症で、毎年世界中で流行がみられません。典型的な発症例では1～4日間の潜伏期間を経て、突然、発熱(38℃以上の高熱)・頭痛・全身倦怠感・筋肉痛・関節痛等が出現し、併せて鼻水・咳等の呼吸器症状もみられます。

予防方法としては、咳エチケットや流水・石鹸による手洗いと、うがい重要です。また、インフルエンザワクチンの接種も発症の阻止や重症化予防の効果が一定程度認められています。

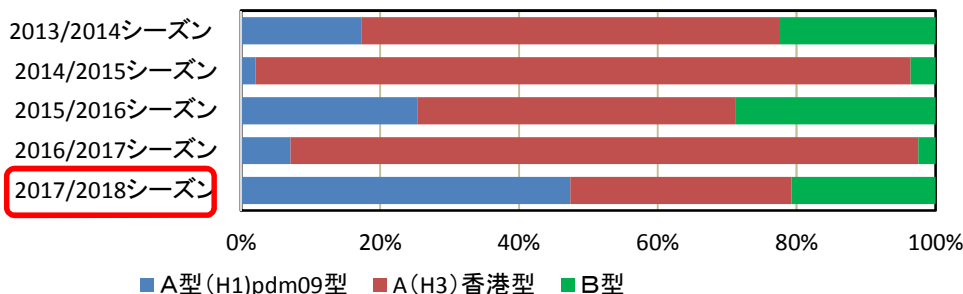
(図1)京都市及び全国の定点当たり報告数の推移



(図2)都道府県別定点当たり報告数の推移



(図3) 5シーズン(第36週～第48週まで)の全国のインフルエンザウイルス型検出率



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成29年第48週

疾病,行政区別報告数

平成29年11月27日～平成29年12月3日

データ入手日:平成29年12月6日

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																				
北	3	1	1	-	5	-	-	-	1	-	-	-	-	1						
上京	3	2	1	2	10	-	5	-	-	-	-	-	-	-						
左京	3	1	-	6	80	1	2	-	1	-	-	-	-	1						
中京	4	-	-	11	13	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	4	2	-	1	20	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
山科	5	1	-	4	13	6	1	-	6	-	1	1	-	-						
下京	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	7	-	-	3	22	3	-	-	-	-	1	1	-	-						
右京	8	5	4	12	64	-	4	-	1	-	3	3	-	3						
伏見	4	8	2	13	77	4	2	-	-	-	3	1	-	1						
西京	31	2	-	10	40	2	7	-	-	-	-	1	-	-						
京都市計	73	22	8	62	344	17	21	-	10	-	10	7	-	6	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																				
北	0.43	0.25	0.25	-	1.25	-	-	-	0.25	-	-	-	-	1.00						
上京	0.60	0.67	0.33	0.67	3.33	-	1.67	-	-	-	-	-	-	-						
左京	0.43	0.25	-	1.50	20.00	0.25	0.50	-	0.25	-	-	-	-	1.00						
中京	0.80	-	-	3.67	4.33	-	-	-	0.33	-	0.67	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	1.33	1.00	-	0.50	10.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
山科	0.71	0.20	-	0.80	2.60	1.20	0.20	-	1.20	-	0.20	0.20	-	-						
下京	0.33	-	-	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	1.40	-	-	1.00	7.33	1.00	-	-	-	-	0.33	0.33	-	-						
右京	1.00	1.00	0.80	2.40	12.80	-	0.80	-	0.20	-	0.60	0.60	-	3.00						
伏見	0.36	1.14	0.29	1.86	11.00	0.57	0.29	-	-	-	0.43	0.14	-	0.50						
西京	3.88	0.40	-	2.00	8.00	0.40	1.40	-	-	-	-	0.20	-	-						
京都市計	1.06	0.51	0.19	1.44	8.00	0.40	0.49	-	0.23	-	0.23	0.16	-	0.60	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成29年第48週

年齢階級, 疾病別報告数

平成29年11月27日～平成29年12月3日

データ入手日:平成29年12月6日

京都市	年齢1 年齢2 年齢3 年齢4	総数 総数 総数 総数	～5ヶ月 ～5ヶ月 ～5ヶ月 0歳	～11ヶ月 ～11ヶ月 ～11ヶ月 1歳-	1歳 1歳 1歳 5歳-	2歳 2歳 2歳 10歳-	3歳 3歳 3歳 15歳-	4歳 4歳 4歳 20歳-	5歳 5歳 5歳 25歳-	6歳 6歳 6歳 30歳-	7歳 7歳 7歳 35歳-	8歳 8歳 8歳 40歳-	9歳 9歳 9歳 45歳-	10歳- 10歳- 10歳- 50歳-	15歳- 15歳- 15歳- 55歳-	20歳- 20歳- 20歳以上 60歳-	30歳- 30歳- 30歳- 65歳-	40歳- 40歳- 40歳- 70歳以上	50歳- 50歳- 50歳- 70歳以上	60歳- 60歳- 60歳- 70歳以上	70歳- 70歳- 70歳以上 70歳以上	80歳以上
インフルエンザ (※1)	年齢1	73	-	1	1	4	-	4	5	5	12	6	3	9	-	1	9	9	2	1	1	-
RSウイルス感染症	年齢3	22	6	2	9	4	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		8	-	1	3	-	1	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		62	-	-	2	3	6	8	10	3	10	7	5	5	1	2	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎		344	6	34	71	50	32	33	20	11	11	10	6	22	12	26	-	-	-	-	-	
水痘		17	1	-	1	2	-	2	-	1	6	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	
手足口病		21	-	2	7	8	1	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
伝染性紅斑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
突発性発しん		10	1	5	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ヘルパンギーナ		10	1	1	4	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	
流行性耳下腺炎		7	-	-	1	-	-	1	-	1	1	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎		年齢2	6	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	2	1	1	-	-	
細菌性髄膜炎 (※2)		年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無菌性髄膜炎			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
クラミジア肺炎 (※3)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1 年齢2 年齢3 年齢4	総数 総数 総数 総数	～5ヶ月 ～5ヶ月 ～5ヶ月 0歳	～11ヶ月 ～11ヶ月 ～11ヶ月 1歳-	1歳 1歳 1歳 5歳-	2歳 2歳 2歳 10歳-	3歳 3歳 3歳 15歳-	4歳 4歳 4歳 20歳-	5歳 5歳 5歳 25歳-	6歳 6歳 6歳 30歳-	7歳 7歳 7歳 35歳-	8歳 8歳 8歳 40歳-	9歳 9歳 9歳 45歳-	10歳- 10歳- 10歳- 50歳-	15歳- 15歳- 15歳- 55歳-	20歳- 20歳- 20歳以上 60歳-	30歳- 30歳- 30歳- 65歳-	40歳- 40歳- 40歳- 70歳以上	50歳- 50歳- 50歳- 70歳以上	60歳- 60歳- 60歳- 70歳以上	70歳- 70歳- 70歳以上 70歳以上	80歳以上
インフルエンザ (※1)	年齢1	1.06	-	0.01	0.01	0.06	-	0.06	0.07	0.07	0.17	0.09	0.04	0.13	-	0.01	0.13	0.13	0.03	0.01	0.01	-
RSウイルス感染症	年齢3	0.51	0.14	0.05	0.21	0.09	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
咽頭結膜熱		0.19	-	0.02	0.07	-	0.02	-	0.05	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.44	-	-	0.05	0.07	0.14	0.19	0.23	0.07	0.23	0.16	0.12	0.12	0.02	0.05	-	-	-	-		
感染性胃腸炎		8.00	0.14	0.79	1.65	1.16	0.74	0.77	0.47	0.26	0.26	0.23	0.14	0.51	0.28	0.60	-	-	-	-		
水痘		0.40	0.02	-	0.02	0.05	-	0.05	-	0.02	0.14	0.05	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-		
手足口病		0.49	-	0.05	0.16	0.19	0.02	0.02	-	-	-	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-		
伝染性紅斑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
突発性発しん		0.23	0.02	0.12	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
ヘルパンギーナ		0.23	0.02	0.02	0.09	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.05	-	-	-	-		
流行性耳下腺炎		0.16	-	-	0.02	-	-	0.02	-	0.02	0.02	-	0.05	0.02	-	-	-	-	-	-		
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
流行性角結膜炎		年齢2	0.60	-	-	-	-	0.10	-	-	-	-	-	-	-	0.10	0.20	0.10	0.10	-		
細菌性髄膜炎 (※2)		年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
無菌性髄膜炎			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
マイコプラズマ肺炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
クラミジア肺炎 (※3)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成29年第48週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成29年12月6日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1	13	10	13	19	41	73
RSウイルス感染症	37	46	35	26	34	22
咽頭結膜熱	12	10	9	11	5	8
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	46	43	43	54	54	62
感染性胃腸炎	187	140	198	220	257	344
水痘	17	11	18	18	24	17
手足口病	75	55	48	42	32	21
伝染性紅斑	1	1	1	-	-	-
突発性発しん	19	15	18	14	13	10
百日咳	-	-	1	-	-	-
ヘルパンギーナ	62	44	28	22	25	10
流行性耳下腺炎	6	6	5	6	3	7
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	4	1	3	4	1	6
細菌性髄膜炎 ※2	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	1	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	1	-	-
クラミジア肺炎 ※3	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4	-	-	-	-	-	-
合計	479	382	420	438	489	580

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1	0.19	0.14	0.19	0.28	0.59	1.06
RSウイルス感染症	0.86	1.07	0.81	0.60	0.79	0.51
咽頭結膜熱	0.28	0.23	0.21	0.26	0.12	0.19
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.07	1.00	1.00	1.26	1.26	1.44
感染性胃腸炎	4.35	3.26	4.60	5.12	5.98	8.00
水痘	0.40	0.26	0.42	0.42	0.56	0.40
手足口病	1.74	1.28	1.12	0.98	0.74	0.49
伝染性紅斑	0.02	0.02	0.02	-	-	-
突発性発しん	0.44	0.35	0.42	0.33	0.30	0.23
百日咳	-	-	0.02	-	-	-
ヘルパンギーナ	1.44	1.02	0.65	0.51	0.58	0.23
流行性耳下腺炎	0.14	0.14	0.12	0.14	0.07	0.16
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.40	0.10	0.30	0.40	0.10	0.60
細菌性髄膜炎 ※2	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	1.00	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	1.00	-	-
クラミジア肺炎 ※3	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4	-	-	-	-	-	-
合計	11.33	8.87	9.88	12.28	11.09	13.31

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。